

はと 鳩のなかの猫

CAT AMONG THE PIGEONS

2008年作品

製作:カレン・トラッセル

監督:ジェームズ・ケント

脚本:マーク・ゲイティス

日本語版プロデューサー:武士侯 公佑、間瀬 博美

日本語版演出:佐藤 敏夫

日本語版翻訳:中村 久世

出演:

エルキュール・ポワロ … デビッド・スーシェ/熊倉 一雄

※ ※ ※

バルストロード校長 … ハリエット・ウォルター/弥永 和子

ジョンソン寮母 … キャロル・マクレディ/下川 江那

リッチ先生 … クレア・スキナー/八十川 真由野

チャドウィック先生 … スーザン・ウルドリッジ/増子 倭文江

アン・シャプランド … ナターシャ・リトル/田中 敦子

シャイスタ王女 … アマラ・カラン/武田 華

アダム … アダム・クローズデル/家中 宏

ブレイク先生 … アマンダ・アビントン/葛城 七穂

ブランシュ先生 … ミランダ・レイゾン/むた あきこ

スプリングー先生 … エリザベス・パーリントン/つかもと 景子

ジェニファー・サットクリフ … ジョー・ウドコック/藤本 教子

ジュリア・アップジョン … ロイス・エドメット/嶋村 侑

アップジョン夫人 … ピッパ・ヘイウッド/藤生 聖子

スイ・タイ … ケイティ・リユン/安田 奈緒子

ケルシー警部 … アントン・レッサー/小島 敏彦



©Agatha Christie Ltd (A Chorion Company) 2008

名門女子学園を訪れたポワロは、旧知の校長から「後継者として教職員の誰が適任か」を観察して欲しいと頼まれて、しばらく学園に滞在することになった。ある夜、体育館で横柄な態度に問題があった体育教師が殺害される。犯人が狙ったのは教師か？政変に揺れる国ラマトトに関係する生徒か？それとも…。第2、第3の事件が起こる中、ポワロは人々の秘密や裏の顔を明らかとし、次第に事件の真相に近づいていく。

◆女学園に独特の難

4人目となるプロデューサー、カレン・トラッセルに引き継がれて製作された本話は、ポワロが名門女子校を舞台に活躍する物語。タイトルは劇中でも語られている通り、周囲に和しない異質性、あるいは必ずや悶着が起こる必然性を意味するそうです。暗躍する謎の人物に学園の教師らが襲われていく展開に、異国の革命と諜報員までも絡み、クリスティ流冒険サスペンスのテイスト香る一編となっています。

学園に入り込んだ謎の人物の正体、連続する事件の背景が一筋縄でくくれぬことも、いつもながら興味深いプロットですが、この物語は本来、女性ばかりの環境にある独特な「難しさ」を描いたものという分析は、興味深い指摘です。サディスティックな体育教師スプリングー、その反転像の如き女生徒スイ・タイの物憂い視線はその象徴のようでもありますし、事件を構成する複層した情念のひとつは、確かにそこに根を張るものと言えるでしょう。

◆女生徒のなかのポワロ

物語も中盤を過ぎてから、宝石を発見したジュリアがロンドンまで来て助けを請う依頼に応じてポワロが学園へ足を運ぶ原作とは異なり、ドラマのポワロは知己である校長から頼まれ序盤からほぼ全編にわたってメドウバンク校に滞留します。こうして女学園を闊歩するポワロもまた、言ってみれば鳩のなかの猫であるわけですが、そうした意味での騒動は特に起こりません。折角のドラマ・アレンジなのに、女生徒や女教師たちとポワロのミスマッチなユーモアが描かれなかったのは、何とも残念です。

◆エキゾチックな魅力

エキゾチックなアジア系の女生徒スイ・タイに扮しているのは、大ヒット映画『ハリー・ポッターと炎のゴブレット』(2005)等を御覧の方にはハリーの初恋の相手チョウ・チャン役でおなじみの、ケイティ・リユン。父親が英国人で母親が中国人ですが、香港から移民したため彼女自身はスコットランド出身だそうです。

押しが強く女王相手でも遠慮なしの寮母ジョンソンに扮しているキャロル・マクレディは、『エンドハウスの怪事件』ではエンドハウスの別棟に住む狡猾なクロフト夫妻の、妻ミリー役を好演。表裏の激しい言動が何とも強烈な役柄でした。